



平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月2日

上場会社名 ホシデン株式会社
 コード番号 6804 URL <http://www.hosiden.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古橋 健士

問合せ先責任者 (役職名) 取締役社長室担当 (氏名) 本保 信二

TEL 072-993-1010

四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	234,299	149.6	10,643		11,395	584.2	9,961	469.6
29年3月期第3四半期	93,866	18.7	538		1,665		1,748	

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 10,817百万円 (524.5%) 29年3月期第3四半期 1,732百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	167.53	162.50
29年3月期第3四半期	28.45	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	155,453	86,882	55.9
29年3月期	119,045	76,661	64.4

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 86,882百万円 29年3月期 76,661百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		3.00		5.00	8.00
30年3月期		5.00			
30年3月期(予想)				15.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日公表いたしました「配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

30年3月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当10円00銭 特別配当5円00銭

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	290,000	93.2	11,500	384.6	10,300	470.7	9,000	338.3	151.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	67,710,084 株	29年3月期	69,710,084 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	8,251,320 株	29年3月期	10,250,151 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	59,459,315 株	29年3月期3Q	61,460,542 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- (1) 予想数値の修正に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)P3(3)「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。
- (2) 本資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、現在入手可能な情報による当社の判断に基づく将来の予測であり、当社としてその実現を約束する主旨のものではありません。さまざまな潜在的リスクや不確定要素を含んでおり、実際の業績はさまざまな重要な要素により、記載された見通しと大きく異なる可能性もあり、これらの見通しに過度に依存されないようお願いいたします。なお、業績予想の前提条件その他の関連する事項につきましては、添付資料の3ページをご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
3. その他	9
継続企業の前提条件に関する重要事象等	9
4. 補足情報	10
セグメント別販売実績	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成29年4月～平成29年12月)の世界経済は、米国では雇用環境の改善や個人消費の増加を背景に景気は緩やかな回復を継続しております。欧州においても緩やかな景気回復が続いており、中国では個人消費を中心に景気は持ち直しております。日本経済につきましては、輸出の伸びを背景に製造業の業績が回復しており、景気は緩やかに回復を続けております。当社グループの属する電子部品業界におきましては、自動車関連向けは引き続き堅調に推移しているうえ、スマートフォン市場向けや産業機器向け、ゲーム機向けも好調で受注を押し上げています。

このような状況の下で、当社グループでは、アミューズメント関連向けが大きく伸び、自動車関連向け、移動体通信関連向けも好調に推移しました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は2,342億99百万円(前年同期比149.6%増)、営業利益は106億43百万円(前年同期は5億38百万円)、経常利益は113億95百万円(前年同期比584.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は99億61百万円(前年同期比469.6%増)となりました。

当第3四半期連結累計期間のセグメントの売上高の状況は次のとおりであります。

機構部品につきましては、アミューズメント関連向け、移動体通信関連向け、自動車関連向けが増加したことにより、2,104億52百万円(前年同期比192.9%増)となりました。

音響部品につきましては、アミューズメント関連向け、自動車関連向けが増加したことにより、134億11百万円(前年同期比8.1%増)となりました。

表示部品につきましては、自動車関連向けが増加したことにより、76億36百万円(前年同期比9.0%増)となりました。

複合部品その他につきましては、健康機器関連向けが増加したことにより、27億99百万円(前年同期比7.5%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産・負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、有価証券が減少したものの、売上債権、たな卸資産、有形固定資産の増加等により前連結会計年度末比364億7百万円増の1,554億53百万円となりました。又、負債につきましては、仕入債務、新株予約権付社債の増加等により前連結会計年度末比261億85百万円増の685億70百万円となりました。

なお、純資産は、利益剰余金の増加、自己株式の消却等により前連結会計年度末比102億21百万円増の868億82百万円となり、自己資本比率は55.9%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末比28億14百万円減の426億43百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における営業活動による資金の減少は、73億9百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益113億97百万円、売上債権の増加238億81百万円、たな卸資産の増加109億66百万円、仕入債務の増加149億64百万円によるものであります。

投資活動による資金の減少は、48億68百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得46億92百万円によるものであります。

財務活動による資金の増加は、91億7百万円となりました。これは主に、短期借入金の減少4億16百万円、新株予約権付社債の発行による収入101億20百万円、配当金の支払額5億94百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、アミューズメント関連向けの売上が想定より好調に推移し、さらに生産性の向上や原価低減に努めたことにより、売上高、営業利益予想を見直いたします。また、経常利益につきましては、想定為替レートを1米ドル112円から110円に変更したため、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、上記に加え、税金費用の低減により、予想の見直しをいたします。

(平成30年3月期 通期連結業績見通し)

売上高	290,000百万円 (対前期比193.2%)
営業利益	11,500百万円 (対前期比484.6%)
経常利益	10,300百万円 (対前期比570.7%)
親会社株主に帰属する当期純利益	9,000百万円 (対前期比438.3%)

また、当期の期末配当金につきましては、配当予想の修正を行っており、これにつきましては、本日公表いたしました「配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	40,275	40,725
受取手形及び売掛金	28,752	53,526
有価証券	5,500	2,600
商品及び製品	5,323	10,659
仕掛品	2,212	2,269
原材料及び貯蔵品	12,960	18,810
その他	5,395	5,753
貸倒引当金	△33	△31
流動資産合計	100,386	134,313
固定資産		
有形固定資産	12,517	14,473
無形固定資産	243	244
投資その他の資産		
投資有価証券	4,929	5,440
その他	1,374	1,386
貸倒引当金	△406	△406
投資その他の資産合計	5,898	6,421
固定資産合計	18,658	21,139
資産合計	119,045	155,453

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	24,227	39,896
短期借入金	5,769	5,537
未払法人税等	705	1,544
その他	4,170	3,886
流動負債合計	34,872	50,864
固定負債		
新株予約権付社債	—	10,142
退職給付に係る負債	5,013	4,919
その他	2,497	2,643
固定負債合計	7,511	17,705
負債合計	42,384	68,570
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,660	13,660
資本剰余金	19,596	19,596
利益剰余金	52,898	60,386
自己株式	△9,626	△7,750
株主資本合計	76,528	85,893
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,106	2,489
為替換算調整勘定	△2,107	△1,596
退職給付に係る調整累計額	134	95
その他の包括利益累計額合計	132	989
純資産合計	76,661	86,882
負債純資産合計	119,045	155,453

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	93,866	234,299
売上原価	85,713	215,217
売上総利益	8,153	19,082
販売費及び一般管理費	7,614	8,438
営業利益	538	10,643
営業外収益		
受取利息	39	65
受取配当金	64	75
為替差益	1,053	663
その他	65	91
営業外収益合計	1,222	895
営業外費用		
支払利息	89	101
社債発行費	—	29
その他	5	13
営業外費用合計	95	144
経常利益	1,665	11,395
特別利益		
固定資産売却益	594	4
その他	6	0
特別利益合計	600	4
特別損失		
固定資産除売却損	22	0
投資有価証券売却損	—	0
投資有価証券評価損	85	—
その他	0	0
特別損失合計	109	2
税金等調整前四半期純利益	2,156	11,397
法人税、住民税及び事業税	349	1,441
法人税等調整額	58	△6
法人税等合計	407	1,435
四半期純利益	1,748	9,961
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,748	9,961

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	1,748	9,961
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	602	382
為替換算調整勘定	△640	511
退職給付に係る調整額	21	△38
その他の包括利益合計	△16	856
四半期包括利益	1,732	10,817
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,732	10,817
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,156	11,397
減価償却費	1,246	2,511
売上債権の増減額 (△は増加)	△7,075	△23,881
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△13,286	△10,966
営業未収入金の増減額 (△は増加)	△416	△661
仕入債務の増減額 (△は減少)	18,382	14,964
その他	841	162
小計	1,848	△6,473
利息及び配当金の受取額	104	135
利息の支払額	△84	△99
法人税等の支払額	△1,065	△960
法人税等の還付額	227	89
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,029	△7,309
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	14	△346
有形固定資産の取得による支出	△3,357	△4,692
その他	558	170
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,784	△4,868
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△618	△416
新株予約権付社債の発行による収入	—	10,120
自己株式の取得による支出	△0	△1
配当金の支払額	△491	△594
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,110	9,107
現金及び現金同等物に係る換算差額	△493	255
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,359	△2,814
現金及び現金同等物の期首残高	54,015	45,457
現金及び現金同等物の四半期末残高	50,655	42,643

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成29年5月30日開催の取締役会決議に基づき、平成29年6月15日付で、自己株式2,000,000株の消却を実施いたしました。この結果、当第3四半期連結累計期間において利益剰余金及び自己株式がそれぞれ18億78百万円減少し、当第3四半期連結会計期間末において利益剰余金が603億86百万円、自己株式が77億50百万円となっております。

3. その他

継続企業の前提条件に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度におきましては、営業利益23億73百万円、経常利益18億4百万円、親会社株主に帰属する当期純利益20億53百万円となり、当第3四半期連結会計期間におきましても、営業利益106億43百万円、経常利益113億95百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益99億61百万円となりました。しかしながら、平成27年3月期より2期連続して営業損失を計上しており、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象または状況が存在しているものと認識しております。

当社グループは、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象または状況を早期に解消または改善するため、以下の対応策を実施したことにより、前連結会計年度より営業損益が黒字化しております。また当第3四半期連結会計期間末日における現金及び現金同等物の期末残高についても426億43百万円であり、当面の十分な手元資金を確保していることから、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断し、四半期連結財務諸表への注記は記載しておりません。

①受注・売上の拡大

新規市場への拡販、特に自動車市場はエレクトロニクス化が進み、成長が期待される分野であり、当分野への主力製品であるタッチパネル、マイクロホン、コネクタ、スイッチユニットについて競争力を強化し、また新製品の開発スピードを速めることで、既存顧客に対する取扱い製品の拡大と新規顧客への拡販を図り、受注・売上の拡大を目指します。加えてアミューズメント関連新製品も販売が好調であり、引き続き受注・売上の拡大を目指します。

②生産性の向上・原価低減

機械化、省人化、省力化による生産性の向上、加えて工程改善、内製化、最適な生産地の選別への取り組みを一段と強化することにより、引き続き原価低減に取り組んでまいります。

4. 補足情報

セグメント別販売実績

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間	
	自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日	
セグメントの名称	金額 (百万円)	構成比
機構部品	210,452	89.8%
音響部品	13,411	5.7%
表示部品	7,636	3.3%
複合部品その他	2,799	1.2%
合計	234,299	100.0%